市広報
伸びつく三田

平成27年（2015）
8月15日
No.986
毎月1日・15日発行

主な記事
2面：消費生活相談の概要
3面：三田国際マスターズマラソンエントリー開始

広報紙は市ホームページからもご覧いただけます。
広報紙閲覧用二次元コード

発行／三田市役所 〒669-1595 兵庫県三田市三輪2-1-1 ☎079-563-1111（代表）
編集／企画広報課 ☎ 079-559-5040 FAX 079-563-1366
ホームページアドレス http://www.city.sanda.lg.jp/
携帯用アドレス http://www.city.sanda.lg.jp/mobile/
フェイスブックアドレス http://www.facebook.com/sandacity/

子どもに夢を 高齢者に安心を 地域に元気を

森哲男新市長が8月10日初登庁し、新たな市政をスタートしました。

日本一住みたいまちを目指して
～就任あいさつ～ 三田市長 森（もり） 哲男（てつお）

この度の三田市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまからのご支援により、第7代目の市長として就任いたしました。心から感謝申し上げますとともに、歴史と伝統のある三田市の将来を任された職責の重さに身の引き締まる思いです。

さて、三田市は豊かな自然に育まれた潤いのある素晴らしいまちであり、生活するには恵まれた環境にあると感じています。さらに、この三田に「賑わい」が加われば「魅力溢れる成熟都市」として、大いに未来が拓（ひら）けてくるものと確信しています。

そのためには、これまでの「子育てするならゼッタイ三田」を継承・発展させることはもとより、新たに「子どもに夢を 高齢者に安心を 地域に元気を」の3つの方針のもと、「三田未来塾の創設」などプロジェクト5として掲げた5つの施策を中心に事業を展開するとともに、「地方創生」についても重点テーマと位置づけて推進することが何よりも肝要であると考えています。

また、私がこれまで培（つちか）ってきた経験やネットワークを積極的に活かすとともに、市民の皆さま並びに議員の皆さま、そして職員と心をひとつにしてまちづくりを進め、三田市が「日本一住みたいまち」として評価いただけるよう全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申しあげます。

～竹内前市長退任あいさつ～

市長就任当時、三田市を取り巻く行財政環境は極めて厳しい状況下にありましたが、議員の皆さまをはじめ市民の皆さまの温かいご理解とご支援をいただき、懸案でありました「財政の健全化」をはじめ、山積（さんせき）する諸課題も順調に解決することができました。また一方、成長から成熟への転換期にある本市の新たな発展をめざして、市民との協働によるまちづくりの仕組みを整える中で、その道標（みちしるべ）となる「ひと・まち・自然が輝く三田」を将来像とした第4次総合計画も今、実現に向かって、着実な歩みを進めつつありますことは、誠に心強い限りであり、感謝に絶えないところであります。

―人がまちをつくり、まちが人をつくる―先人たちが営々と築いてきたこの三田のまちづくりをしっかりと次に繋いでいくことが何より大切です。本市は、まだまだ発展性を秘めた都市であります。今後とも新体制のもとで、市民の皆さまの英知と努力が結集され、ふるさと三田が、未来に向けてさらに飛躍されることを心から祈念し、退任のあいさつといたします。

◆◇◆ 三田まちづくり憲章 ◆◇◆

私たちは、すべての市民が誇りを持って、人と自然が輝くまち・三田を共につくるために、この憲章を定めます。

私たちは
一、命を大切にし、互いに助け合う、心ふれあうまちをつくります。
一、誰もが元気で笑顔があふれる、希望に満ちたまちをつくります。
一、美しい風景を守り、自然と共に育つまちをつくります。
一、伝統を尊重するとともに、新しい市民文化のまちをつくります。
一、里の恵みを大切にし、未来につなぐ活力あるまちをつくります。

人口と世帯の動き　人口 114,214（△30）　男 55,503（△17）　女 58,711（△13）　世帯数 44,828（13）　－8月1日現在－（ ）内は前月比

15企8-011他

VEGETABLE OIL INK 再生紙を使用しています

広報紙は公益社団法人三田市シルバー人材センターが全戸配布しています。配布に関する問い合わせは右記まで。
公益社団法人 三田市シルバー人材センター 0120-237519（平日9時～17時30分）

住民票の住所地以外の居所にお住まいの皆さまへ

～マイナンバーの通知カードを確実に受け取るために～

マイナンバー（個人番号）が記載された「通知カード」が27年10月以降、住民票の住所地に届きます。来年以降、税の申告や社会保障の手続きの際、通知カードと本人確認書類（運転免許証など）の提示が必要になりますので、なくさないように大切に保管してください。

また、やむを得ない理由により「通知カード」を住民票の住所地で受け取ることができない人は、住民票のある住所地の市区町村に居所情報の登録申請を行ってください。申請が認められた場合、登録された居所に「通知カード」が送付されます。居所情報の登録申請には、居住していることを証する書類（公共料金の領収書など）が必要です。

居所情報登録期間＝8月24日（月）～9月25日（金）
※土・日曜、祝日を除く
問い合わせ＝全国共通マイナンバーコールセンター（0570-20-0178）
市個人番号カード交付担当（559-5106）

市民病院職員（診療放射線技師）募集

採用試験日：10月3日（土）

職種	受験資格	募集人員	試験内容
診療放射線技師	昭和60年4月2日以降に出生した人で診療放射線技師の免許を有する人、または平成27年度国家試験により同免許取得見込の人	1人	教養試験 専門職試験 作文試験 個人面接

採用日＝28年4月1日
申込み方法＝募集要項または市民病院ホームページをご確認ください。
受付期間＝8月24日～9月25日
申し込み・問い合わせ＝
市民病院事務局総務課（565-8605 FAX 565-8011）
平日8時30分～17時

「年金情報流出」を口実とした犯罪にご注意を！

日本年金機構への不正アクセスにより年金情報が流出した事案において、日本年金機構を名乗り口座番号を聞き出そうとする人や、「流出した個人情報を削除してあげる」と持ちかける人が現れています。

【日本年金機構からの注意のお願い】
①年金情報流出について、電話やメールで連絡することは一切無く、流出が確認された人への新しい基礎年金番号は郵送でお知らせします。
②お金やキャッシュカードを要求することは一切ありません。
③ＡＴＭの操作をお願いすることは一切ありません。

ご自分の情報が流出していないかなど心配な人は下記専用電話窓口へ相談ください。
問い合わせ＝日本年金機構専用電話窓口（0120-818-211）
8時30分～21時（通話料無料）

28年度 保育所、認定こども園等利用に関する説明会

27年4月から、子ども・子育て支援新制度がスタートし、小学校就学前の子どもが保育・教育施設（保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育施設）を利用する際の手続きが見直されています。

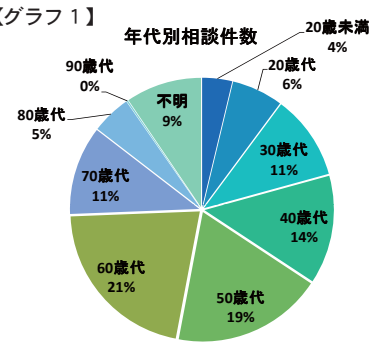
市では、利用申し込みの流れや保育料などに関する説明会を開催します。28年4月から入園を検討されている場合は、ぜひご参加ください。
※説明会への参加の有無が、入園選考に影響することはありません。
会場＝総合福祉保健センター 多目的ホール（川除675）
日時＝9月6日（日）①10時～12時 ②13時～15時
※内容は各回とも同じです。
定員＝各回300人程度
申し込み＝不要（当日会場にお越しください）
問い合わせ＝こども支援課（559-5073 FAX 563-3611）

26年度 三田市消費生活相談の概要

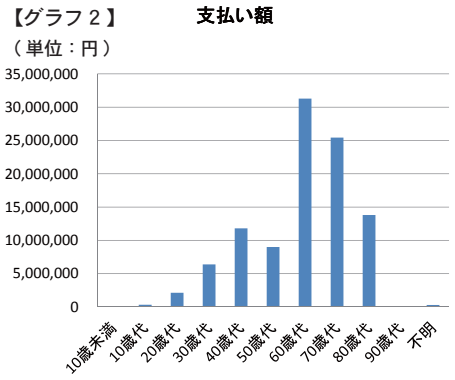
市消費生活相談センターに寄せられた相談件数（問い合わせなどを含む）は、1,202件（25年度：1,191件）でした。その内60歳以上の相談は451件（グラフ1）で全体の約4割弱を占め、支払い額も総額で約7千万円（グラフ2）で59歳以下の2倍以上となっており、高齢者の消費者被害が増加、深刻化しています。相談内容では、昨年に引き続き、すべての年代でアダルトサイトなどのワンクリック請求の相談が多く寄せられました。ワンクリック請求をさらに悪用した被害救済サイトの相談も増加しました。

市では、消費生活に関する相談・啓発・教育を一貫して行う消費生活センターを今年4月に新設しました。特に、高齢者の消費者被害の未然防止を重点課題とし、地域や関係機関と連携しながら取り組んでいます。
問い合わせ＝まちづくり協働センター（559-5032 FAX 563-8001）

【グラフ1】



【グラフ2】



傾向と特徴 ※（　）は25年度件数

1．ワンクリック請求など、インターネット情報サービスに関する相談が最多：223件 18.6%（138件 11.6%）

「スマートフォンやパソコンで無料アダルトサイトを閲覧中に、突然、高額な登録料を請求する画面が表示された」、「利用した覚えのないサイト利用料金を請求された」といった相談が多く寄せられました。各年代で最も多い相談となっています。

2．被害救済サイトなど、サービスに関する相談が増加：52件 4.3%（29件 2.4%）

アダルトサイトなどで高額な登録料を請求されたことに驚き、ネットで探した「消費者トラブル被害救済サイト」などに連絡をとったところ、解決料として高額な料金を請求されたといった相談が増加しました。

3．プロバイダなど、インターネット通信サービスに関する相談が急増：40件 3.3%（20件 1.7%）

「今より安くなる」とプロバイダ契約の変更を勧誘する電話があり、業者の指示に従ってパソコンでホームページ画面を開くと遠隔操作でプロバイダを変更された。実際には新しい契約先のほうが高くなることがわかり、解約を希望すると違約金を請求されたといった相談が急増しました。

不動産の公売

市は、財政の基盤である市税などの収入の確保と税負担の公平性を図るため、滞納者に対し財産（不動産をはじめ、預金・給与など）の差押えを行っています。今年度も、換価手続（差押えた財産を金銭に換価する手続き）を進めることになり、差押えた不動産の公売を実施します。

参加資格＝国税徴収法で入札を制限されている人を除き、公売保証金を納付すればどなたでも参加できます。詳しくは公売広報をご覧ください。
なお、売却番号1～4は9月4日（金）までに市農業委員会に「農地買受適格証明書」の交付申請が必要です。
入札日時＝10月20日（火）10時30分開始
（受付9時30分～、説明10時～）
場所＝本庁舎4階入札室
公売広報の配布場所＝収納対策課納税対策係（本庁舎2階）
当日必要なもの＝
①農地買受適格証明書（農地のみ）
②公売保証金
③印鑑
④委任状（代理人のみ）
⑤法人登記簿（法人のみ）
問い合わせ＝収納対策課（559-5043 FAX 563-5697）

◆三田市公売財産 ※市税の納付などにより中止になる場合があります。

売却番号	所在地	種類	面積	見積価額	公売保証金
1	四ツ辻字池の尻1788番1	田	685㎡	253,000円	要しない
2	四ツ辻字池の尻1789番	田	413㎡	139,000円	要しない
3	須磨田字下ノ町1296番	田	2,556㎡	3,992,000円	400,000円
	須磨田字下ノ町1297番	田	2,197㎡		
4	天神三丁目4871番	畑	19㎡	1,841,000円	200,000円
	天神三丁目4872番	雑種地	20㎡		
	天神三丁目4873番	雑種地	20㎡		
5	乙原字森ノ元1053番1	宅地	758.68㎡	4,851,000円	500,000円
	乙原字森ノ元1053番地	居宅	162.23㎡		

ひょうご防災リーダー講座受講者募集

頻発している集中豪雨・台風による風水害や近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震などによる大災害から被害の軽減を図るため、兵庫県広域防災センターによる防災に関する知識や技術を学ぶ「ひょうご防災リーダー講座」が開講されます。

防災分野の一流講師による講義やワークショップ型の研修など、多彩なカリキュラムとなっており、修了者には「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、「防災士」の受験資格が付与されます。

日時＝27 年 10 月～ 28 年 3 月のうち 12 日間（原則、土曜）
会場＝兵庫県広域防災センター（三木市）ほか
受講料＝無料
対象＝県内在住・在勤者
申し込み・問い合わせ＝9 月 30 日必着、参加申込書に必要事項を記入し、郵送またはホームページで、〒 673-0516 三木市志染町御坂 1-19 兵庫県広域防災センター（0794-87-2920 FAX 0794-87-2925 ホームページ http://www.fire-ac-hyogo.jp/）

三田市プレミアム付商品券 取扱店（使用可能店舗一覧）

三田市商工会は、8 月 15 日ごろに市内全戸に『三田市プレミアム付商品券』が使える取扱店（使用可能店舗一覧）情報を掲載したチラシを配布します。チラシには商品券の利用方法など詳しい情報も掲載されていますのでご確認ください。また、取扱店は商工会の商品券専用ホームページにも掲載され、お店には下記のステッカーを貼っています。

今後も、取扱店の募集は随時受付を行っていますので、取扱店の最新情報は商品券専用コールセンターまたは商品券専用ホームページでご確認ください。

※商品券は 8 月 28 日（金）から販売します。詳しくは市広報紙（8 月 1 日号 1 面）に掲載されていますのでご確認ください。

問い合わせ＝市商工会商品券専用コールセンター（562-3568）
※平日 9 時から 17 時（土・日曜、祝日は休み）
商品券専用ホームページ
（http://www.kippy-premium.com/）

三田市総合文化センター（郷の音ホール）指定候補者募集

三田市総合文化センターの管理運営に係る指定候補者を募集します。

募集数＝1 団体
指定期間＝28 年 4 月 1 日～ 33 年 3 月 31 日までの 5 年間（予定）
申請資格＝法人その他の団体または複数の法人などで構成される共同事業体（個人は不可）
募集要項の配布＝8 月 20 日（木）～ 9 月 30 日（水）
※市ホームページからのダウンロードまたは下記窓口での配布
現地説明会＝9 月 2 日（水）14 時から
（申請予定団体は必ず出席してください）
※8 月 27 日（木）17 時までに生涯学習支援課に e メールまたはファクスで申し込みください。
申請期間＝9 月 24 日（木）～ 30 日（水）
※詳しくは、市ホームページまたは窓口配布の募集要項でご確認ください。
問い合わせ＝生涯学習支援課（559-5144 FAX 563-7776 e メール syogaku_u@city.sanda.lg.jp）

まちづくり協働センター 10 周年記念事業 9 月 13 日（日）開催

まちづくり協働センター（三田駅前キッピーモール 6 階）は、オープン 10 周年を迎えます。キッピーモール 10 周年祭とあわせて、楽しいイベントを予定していますので、ぜひお越しください。

日時＝9 月 13 日（日）10 時 30 分～ 17 時
場所＝まちづくり協働センター
主催＝まちづくり協働センター 10 周年記念事業実行委員会、三田市
イベントの内容＝
◆**講演会**：関西ワンディッシュエイド協会理事長 樽井（たるい） 雅美（まさみ）さんによる講演「器が地球に出来ること」
◆**全 56 団体参加予定**（ステージ発表 10 団体、飲食販売 7 団体、体験会・販売 16 団体、作品展示 8 団体、パネル展示 15 団体）
◆**国際交流プラザ、人権・男女共同参画プラザによる展示および体験会**
◆**特設相談**：消費生活相談、女性のための相談
問い合わせ＝まちづくり協働センター（559-5154 FAX 563-8001）

エントリー 8 月 19 日から開始！「第 27 回三田国際マスターズマラソン」今年からコースがリニューアル！！

第 27 回三田国際マスターズマラソンの参加者を募集します。ボランティアや沿道の暖かい声援など、多くの市民の皆さんに支えていただき、この大会も三田の冬の風物詩としてすっかりお馴染みとなりました。今年度からは、新たにカルチャータウンの美しい街並みの中を走るコースに変更しました。師走の田園風景やニュータウンなどを駆け抜けるリニューアルしたコースで走り納めをしませんか。

日時＝12 月 20 日（日）10 時 30 分スタート ※雨天決行
スタート / ゴール＝県立有馬高等学校グラウンド
（21.0975km/ 日本陸連公認）
参加資格＝①から③すべてを満たす人
①男女 18 歳以上（高校生は除く）
② 心疾患および脳血管疾患などの持病がない
③ 2 時間 30 分以内で完走できる健康な人
※健康状態に不安のある人はエントリーをご遠慮ください。
参加料＝一般 4,000 円、日本マスターズ陸連登録者 3,500 円
申込開始＝8 月 19 日（水）から
申込締切＝郵便振替：9 月 7 日（月）
インターネットエントリー：9 月 25 日（金）

◆ボランティアスタッフも募集中！

大会運営にご協力いただけるスタッフを募集しています。

【参加条件】
①大会の成功を第一に考えている人
②大会当日現在 15 歳以上の人（中学生を除く）
③健康で元気な人（長時間にわたり立ったままでの活動が中心となります）
主な業務＝会場運営補助、走路スタッフ、ステージ補助など
報酬＝無償（スタッフジャンパー貸与、昼食の支給有り）

大会を支えるボランティアスタッフの皆さん

申し込み・問い合わせ＝市生涯学習支援課内三田国際マスターズマラソン実行委員会事務局（562-7666 FAX 563-7776）
※エントリー方法などを記載したパンフレットは、市役所、市内各公共施設・郵便局などに設置しています。

昨年のスタート直後の様子

ゲストランナー
エリック・ワイナイナさん
オリンピック男子マラソン
2 大会連続メダリスト

【コース図】

※今年度から、溝口から下相野区間に変わり、ゆりのき台から学園区間を新設します。

人権さんだ

NO.437

人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。
問い合わせ＝まちづくり部人権推進課
(559-5081･5148 FAX 563-3611 e メールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)

平成 26 年度
三田市人権ポスター入賞作品

上野台中学校 1 年 (前年度)
森 千草さん

8/23 (日) 三田幸せプロジェクト ～明るい未来へ～

参加無料

「三田幸せプロジェクト～明るい未来へ～」は、三田市同和教育研究協議会 (略称：三同教) の中心事業として毎年 8 月に開催しています。さまざまな人権課題について、話を聴き、語り合い、学び合い、人としてよりよい生き方を確かめ合っています。誰もが幸せを感じる人権のまちづくりをすすめていきましょう。

＜分科会概要＞

総合福祉保健センター

午前の部 (9 時 30 分～ 12 時)

高齢社会に生きる

報告者 倉垣 岩夫さん、倉 光世さん、六車 由治さん

テーマ 高齢になって思うこと、伝えたいこと
～みんなで話し合いましょう～

誰でも平等に年齢を重ねます。そして高齢になることは誰にとっても初めての経験なのです。その時自分はどんなふうにありたいか、家族や地域の中で今感じることを、体験発表の中から自分の事としてみなさんで考えてみましょう。高齢社会で心も体も元気に生きていこうとする発表者の思いに、寄り添い、向き合いながら参加者の皆さんと話し合っていきます。

多文化共生と人権

報告者 中村 一成さん (ジャーナリスト)

テーマ ヘイト・スピーチはなぜ問題なのか ～害悪と被害から考える～

ヘイト・スピーチとは、人種・民族・性などの属性を理由に、集団もしくは個人に対し差別・憎悪・排除・暴力を扇動し、または侮辱する行動です。時には人を自死にまで追い込み、それ自体が「暴力」であり、人権侵害です。ヘイト・スピーチがなぜ問題なのかを事例や事象を聞き、正しい知識を得ることにより、私たち一人ひとりにできることを皆さんで考えてみましょう。

午後の部 (13 時 30 分～ 16 時)

障がいのある人と人権

報告者 嘉田 眞典さん (三田聴覚障害者協会会長)

テーマ 障がいのある人もない人も共に暮らせる社会をめざして
～聴覚障害者の生活とコミュニケーション～

市内に聴覚障害者は 200 人以上いますが、普段は聴覚障害者と気づかれることはほとんどありません。しかし、トラブルが起こると駅、病院、会社、学校などで流れる非常放送は聞こえません。この分科会では ①聞こえないこととは ②聞こえない人の生活 ③コミュニケーション について講演いただき、その後手話劇を通じて「聞こえない不便さ」を紹介します。さらに、ミニ手話教室を開催します。

▲ 去年の分科会の様子

ウッディタウン市民センター

子どもと人権

報告者 市内中学生 2 人 人権作文発表

テーマ 子どもの声に耳を傾けて ～大切なものを見失わないために～

「もしかしたら心配してくれて声をかけてくれたかもしれない」
「私を変える一つのスタートだったかもしれない」
心動かされた出会いをきっかけに、自分自身の生き方を見つめ、前向きに生きる子どもたち。「私も生きてきた歩みを振り返り、キラッと輝く生き方を見つけたい。」そんな時間を共に創っていきましょう。

男女共生について考える

報告者 徳丸 ゆき子さん (大阪子どもの貧困アクショングループ代表)

テーマ 見えにくい貧困の実態から共に生きる方法を考えましょう

子どもがいる世帯の中でも、ひとり親世帯の貧困率は突出して高く、さらに子どもの貧困問題は子どもを育てている女性の貧困問題とも深くつながっています。
徳丸さんのグループが、独自で調査したシングルマザー 100 人の聞き取りから見えてきた現状や課題、その他、地域で取り組み始めた居場所づくりなどの活動内容について知り、政策課題や世代を超える負の連鎖をどう断ち切ることができるのか、一緒に考えてみましょう。

広野市民センター

部落問題について考える

報告者 春川 政信さん (前 三木市立別所中学校長)

テーマ より良い私になりたい ～一緒に心みがきをしませんか～

今年は同和対策審議会答申がなされてから 50 年の節目の年です。その答申から同和教育がスタートし、全ての人の人権が守られるための成果として「教科書無償」「面接禁止 14 項目」「就学援助」などが生まれました。しかし、現実問題として幾多の課題が残されています。その課題を解決するために私たちが「今をどう生きるのか」「何を目指して力を合わせるのか」を同和教育の成果を通して春川さんに問題提起をしてもらい、「自分の生き方」を皆さんと一緒に考えましょう。

いのち・つながる

報告者 勅使河原 航さん (三田市社会福祉協議会 地域福祉支援員)

テーマ 子どもの貧困 ～地域住民とのつながりが子どもを育む～

日本の子どもの貧困率が 16.3% に上り、「子どもの貧困」という言葉をテレビや新聞などメディアを通じて多くの人が見かけるようになりました。6 人に 1 人の子どもが貧困と言われる時代ですが、「身近に感じにくい」ことや貧困家庭の「孤立」という特徴があります。子どもの貧困を切り口に、地域で子どもを育むということについて一緒に考えてみましょう。

人権に関する総合相談窓口 … 月～金曜 (祝日除く) 9 時～ 17 時 (559-5062 FAX 559-5063)
女性のための相談 … 問い合わせは、まちづくり協働センター男女共同参画担当 (563-8000 FAX 563-8001)

平和を考える市民のつどい関連事業

平和の祈りを届けて ～つなごう！平和への誓い～

８月９日に開催した「平和を考える市民のつどい」で平和の祈りを込めて皆さんに作成していただいた折り鶴を捧げに、９月９日に広島平和記念公園を訪れます。そして、10 月 10 日にヒロシマ平和リポート（報告会）と講演会など、「平和」について考え、話し合うイベントを開催しますので、ご参加ください。

開催日 10 月 10 日（土）13 時 30 分～ 16 時（受付：13 時～）

会 場 総合文化センター（郷の音ホール）リハーサル室

・当日受付により、先着 100 人
・一時保育希望者は、９月 24 日までに電話またはファクスで人権推進課まで

問い合わせ＝人権推進課（559-5081・5148 FAX 563-3611）

プログラム

・ヒロシマ平和リポート（報告会）
・講演会「戦時中の三田」
　講師：岸田 達男さん
・ワークショップ「平和を考えよう」
・平和の鐘をみんなで鳴らそう

わたし No. 148 出会う 気づく つながる

「子ども同士のつながりから学んだこと」

柴田 将吾さん 藍小学校教職員

Aさんとの出会い

私が教師になりたての頃、子ども同士のつながりを真剣に考えさせられる出来事がありました。それは、Aさんとの出会いでした。

Aさんは、耳がまったく聞こえず、理解するのに時間を要する子でした。身振り手振りで、自分の思いを表現しようとするのですが、私自身もその思いをくみとることができず、「どうやったら、Aさんがクラスの中で居場所を作り、みんなとの関係も良くなるか。」と悩んでいました。

そんな時に、Aさんが耳の手術で入院しました。私は子どもたちがどんな反応をするのだろうか、Aさんが帰ってきた時に居場所はあるのだろうか、などと不安になったのを覚えています。子どもたちに、「明日から、Aさんは入院して、当分の間学校には来られない。」と伝えました。

子どもたちは、クラスの中で一生懸命に考え、みんなでAさんに手紙を送ることになりました。「大変な手術なら、みんなで元気づけよう。」「言葉ではわからないから、写真もいい。」など、Aさんを元気づけるために、みんなで一丸となって話し合っているクラスがそこにはありました。

その様子を見ていて、私は自分の中で涙が出るほど反省したのを覚えています。子ども同士の関係が良くないと考えていたのは私だけで、しっかりとAさんの居場所はここにあったのだと。私自身がAさんを特別扱いし、クラスとつなげなかったのだと思いました。

クラスの子どもたちはそこに気づいており、だからこそAさんが入院した時に手紙を送ろうと提案したのだと思います。「先生、ちゃんと僕らを見てくれ。僕らはAさんを含めてみんなでクラスだ。Aさんのいいところをたくさん知っている。Aさんだけではなく、クラス一人ひとりを見て。」というメッセージだったように思います。

私はAさんだけの居場所を探していた気がします。クラスはAさんだけではなく、みんなの居場所で、Aさんも含めたみんなで一つのクラスなんだということを改めて感じさせられました。

つながりを感じるクラスに

そこに気づいてからは、Aさんだけの居場所探しではなく、クラスのみんなにとって居心地の良い場所をつくろうと再スタートしました。今まで以上に、子ども一人ひとりの行動や表情がしっかりと見えてきて、一人ひとりの良さにさらに気づけるようになりました。

そして、私自身から積極的にクラスに働きかけました。クラスの中で、良い発表があった時にはもっと拍手をしようと提案しました。それからは、良い発表があった時、みんなから拍手が起きるようになりました。その雰囲気を感じると、Aさんも自然と手が挙がっていました。Aさんの発表が終わると、その姿を見ていたクラスのみんな、そして私もいつの間にか手をたたいていました。Aさんのがんばりがクラスのみんなに響いた瞬間でした。

すると、今まで自信がなく手を挙げていなかった子どもたちも次々に発表し、私もがんばってみようという雰囲気ができてきました。学習中も楽しそうに勉強するようになりました。

「拍手をしよう。」という小さな提案が、Aさんの自信を深め、クラスに浸透し、クラスのみんなも自信を持てるようになりました。

これからの私

最近、子どもたちのつながりを考えさせられる言葉を耳にしました。

「すでに子どもたちはつながっている。教師は、そのつながりを支援することが大切だ。」という言葉です。確かに、子どもたちは最初からさまざまなつながりを持っていると思います。それをさらに深める手助けをするのが私の役目なのではと再認識しました。

だからこそ、そのサポートをしっかりと出来るように、子どもの顔を見ながら発言を聴く、子どものつぶやきや表情の変化を見逃さない、子どもの発言を考え、その子の気持ちに心から共感して受けとめる、そういったことが必要だと思います。一人ひとりの良さをたくさん見つけ合えるようなクラスこそ、本当に子どもがつながっているのだと感じました。

子どもたちが生き生きと学校生活を送り、学び合う喜びを感じ取るために、子どもたちが関わり、つながり、深まるような居場所をしっかりと持てるようにしたいと思います。そのためにも、子どもたちが安心して学べる環境を作り、子どもたち同士のつながりを支えていける、学びの喜びを実感できる授業を工夫・改善していく努力を惜しまない教師でありたいと思います。

人権擁護委員による人権相談 … 8月27日（木）
問い合わせ・相談希望者は、人権推進課へ（559-5081・5148 FAX 563-3611）

夏のジョイント夢プログラム

8 月 23 日（日）に夢プログラムを行います。昼間は涼しい室内でのクラシックコンサートや、スーパーボールすくいなどの水遊び、夕方からは紙芝居やアカペラコンサート、夜には夏の星空観察など、親子で 1 日中楽しめる催しが盛りだくさん！日没ごろまで屋台の出店もあります。夏のひとときをゆったりと有馬富士公園で過ごしてみませんか。

日時＝8 月 23 日（日）11 時～ 20 時 30 分
場所＝有馬富士公園出合いの広場ほか
【プログラムの概要】

①キララと水遊び：11 時～ 19 時
②金魚すくい名人：13 時～ 16 時
③クラシックコンサート：13 時 30 分～ 14 時 15 分
④手作り紙芝居：17 時～ 17 時 40 分
⑤アカペラコンサート：18 時 10 分～ 18 時 50 分
⑥望遠鏡の学習と星空観測会：17 時～ 20 時 30 分
⑦出店（カレー、雲水そば、まこれる団子、広島焼き、ハンバーガー、ロングポテトなど）
問い合わせ＝有馬富士公園パークセンター（562-3040 FAX 562-0084）

第 38 回三田市総合体育大会

【バレーボールの部】
①小学生の部

日時＝9 月 27 日（日）9時～
場所＝駒ケ谷運動公園体育館
参加資格＝市内在学児童で構成するチーム
Aクラス…6 年生以下、Bクラス…5 年生以下、Cクラス…4 年生以下
参加料＝1 チーム 3,000 円
申し込み・問い合わせ＝8 月 31 日必着、郵便番号、住所、名前、電話番号を記入し、ファクスで、市バレーボール協会・有谷（090-4279-4168 FAX 568-2429）
②一般の部
日時＝10 月 5 日（月）9時～
場所＝駒ケ谷運動公園体育館
参加資格＝市内在住・在勤者で構成するチーム
参加料＝1 チーム 4,000 円（当日支払い）
申し込み･問い合わせ＝9 月 15 日必着、申込書に必要事項を記入し、郵送、e メールで、〒 669-1533 三田町 16-9-502 市バレーボール協会・太田（090-7115-9595 e メール sandasi-volleyball@hotmail.co.jp）

【剣道の部】

日時＝9 月 27 日（日）9時～
開催場所＝駒ケ谷運動公園体育館
種目＝①団体試合 小学生の部（学年順関係なし、男女混合可、5 人制）、中学生（学年順関係なし、男女別、5 人制）、高校生の部（学年順関係なし、男女別、3 人制）、一般の部（5 段以下、男女混合可、3 人制）※監督がいないチームの参加不可、各 2 チームまで参加可
②個人試合 小学生の部（学年別、男女区別なし）、中学 1 年生の部（男女別）、中学 2・3 年生の部（男女別）、一般男子の部（2 段以下・5 段以下の部）、一般女子の部（5 段以下）
※①②両方に出場することも可
参加資格＝市内在住・在勤・在学者
参加料＝①団体：1 チーム 1,000 円 ②個人：200 円 ※当日受付で支払い
申し込み・問い合わせ＝8 月 31 日必着、郵便番号、住所、名前、電話番号を記入し、ハガキ、ファクス、e メールで、〒 669-1516 友が丘 3-22-11 市剣道協会事務局・西（562-2285 FAX 兼 e メール h-nishi@zeus.eonet.ne.jp）

【ラグビーの部】

日時＝10 月 4 日（日）・18 日（日）・24 日（土）・25 日（日）
場所＝平谷グラウンド
種目＝小学生の部、中学生の部、一般の部
参加資格＝市内在住・在勤・在学者で構成するチーム
申し込み・問い合わせ＝三田ラグビーフットボール協会・金田（501-0377）

【軟式野球の部】

日時＝10 月 4 日（日）～ 12 月 23 日（水・祝）までの日曜および祝日
開催場所＝アメニスキッピースタジアムほか
種目＝①一般の部A ②一般の部B ③シニアの部
参加資格＝①協会登録チームでA・Bランク、②①以外、③ 45 歳以上
※各チームとも市内在住・在勤・在学者 5 人以上を含むこと
チーム編成＝監督 1 人･主将 1 人･選手 18 人以内､背番号は 0 ～ 30 番（監督 30 番・主将 10 番）※試合当日のベンチ入り選手は 10 人以上であること
競技方法＝トーナメント戦
参加料＝1 チーム 8,000 円
抽選会＝9 月 20 日（日）19 時～ アメニス城山体育館
申し込み＝所定用紙（アメニス城山体育館に備え付け）に必要事項を記入し、参加料とともに抽選会に持参
※ 27 年度協会登録チームは所定用紙の提出不要
問い合わせ＝三田軟式野球協会事務局・野条（567-0475、090-1449-7371）

1日も早い水洗化の工事を！

下水道が完成して使用可能となった地域では、くみ取り便所の水洗便所への改造（告示から 3 年以内）や、台所・風呂場などからの雑排水も下水道へ流すように「下水道法」などで義務づけられています。
公共下水道・農業集落排水・コミュニティプラント区域にお住まいで、まだ水洗化をされていない人は、1 日も早い水洗化の工事をお願いします。
水洗化の工事ができるのは、市の指定工事店のみです。工事をするときは、市ホームページ掲載の「市下水道排水設備指定工事店」に申し込みください。
なお、水洗化の相談は下水道課までご連絡ください。
また、市では、トイレなどの水洗化工事に必要な資金について、金融機関から低金利で融資のあっせんもしています（1 件につき 100 万円まで借り入れ可）。

問い合わせ＝下水道課（559-5122 FAX 559-0440）

『三田市家族の日』推進事業　**8 月 30 日（日）**

ふれあいプール無料開放

8 月 30 日（日）にプールを無料開放します。
夏の思い出づくりにぜひご家族でお越しください。
なお、小学 3 年生以下のお子さんの入場は、保護者の同伴が必要です。また、小学 6 年生までは保護者で送迎をお願いします。

開場＝10 時～ 17 時
問い合わせ＝ふれあいと創造の里（568-4000 FAX 560-7013）

段ボールコンポスト講習会 参加者募集

講習会では無料キットを使い、段ボールコンポストの作り方を学びます。作成した段ボールコンポストは自宅へ持ち帰り、その日からごみの減量化に取り組めます。

日時＝9 月 24 日（木）14 時 30 分～ 15 時 30 分
会場＝総合福祉保健センター第 1・2 会議室
対象・定員＝市内在住者 20 人程度（応募者多数の場合抽選）
申し込み・問い合わせ＝8 月 15 日～ 29 日受付、郵便番号、住所、名前、電話番号（連絡のとりやすい）を記入し、ハガキ（消印有効）、ファクス、e メール で、〒 669-1507 香下 1676 クリーンセンター（562-0007 FAX 563-6672 e メール kurin_u@city.sanda.lg.jp）
※応募者全員に抽選結果を通知します

さんだヘルシーライフスクール（連続 6 回）

カラダを変えるための運動と食事の方法をマスターします。食欲の秋のホンキの 2 カ月。あなたもチャレンジしてみませんか。参加費無料。

日時＝9 月 30 日～ 11 月 4 日の毎週水曜の午後
場所＝総合福祉保健センター
内容＝1 コース 6 回講座 ※保健師･管理栄養士の講話 1 回､体力測定 1 回､運動実践 4 回
対象者＝26 年度の健診などの血液検査において「体格」「脂質」「糖尿病」の項目が「要指導」であった 30 歳以上の市民
定員＝先着 30 人
申し込み・問い合わせ＝8 月 17 日～ 28 日必着、住所・名前・生年月日・電話番号・スクール名を記入し、ハガキ、電話、ファクスで、〒 669-1514 川除 675 総合福祉保健センター内 健康増進課（559-6155 FAX 559-5705）

今月の納税

市県民税（第 2 期分）
国民健康保険税（第 2 期分）

―納期は **8 月 31 日（月）**まで―
納期内に納めましょう
税務課（559-5053 FAX 563-5697）
国保医療課（559-5050 FAX 559-2636）

個人事業税の納税

所得税・住民税とは別に、個人で事業を行う人にかかる県税で、年 2 回に分けて納付します。第 1 期分の納期限は、8 月 31 日（月）です。納期限までに必ず、最寄りの金融機関で納めてください。
※口座振替制度もあります

問い合わせ＝伊丹県税事務所課税第 1 課（072-785-9417 FAX 072-777-8073）

8 月 15 日 終戦記念日　正午には戦争犠牲者に黙とうをささげましょう。

暮らしの情報コーナー

◆このコーナーの見方◆
問＝問い合わせ **申**＝申し込み **市**＝市役所（〒669-1595 三輪 2-1-1） **TEL**＝電話 **ハ**＝ハガキ **往ハ**＝往復ハガキ **F**＝ファクス **e**＝e メール
※申し込みがハガキ、ファクス、e メールの場合は、必要事項（〒住所、名前、年齢、電話番号、ファクス番号、講座名）などを明記してください。

講　座

図書館

【楽しく語ろう！郷土史井戸端会議】 8 月 19 日（水）10 時～ 11 時 30 分 無料 **テーマ**：「聖徳太子と三田」 **講師**：青江征男（あおえいくお）さん **対象**：どなたでも **定員**：先着 50 人 **申** 当日

【調べる学習コンクールレポート応援会】 8 月 21 日（金）・22 日（土）いずれも① 10 時～ 12 時 ② 13 時～ 15 時 **対象**：小学生以上 **申** 当日

申問 〒669-1535 南が丘 2 丁目 11-57 図書館本館（562-7300 **F** 562-7301）
※いずれも本館で実施

有馬富士自然学習センター

【万華鏡を作ろう】 8 月 22 日（土）13 時～ 16 時 **対象**：どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴） **定員**：先着 20 人 **参加費**：1 セット 400 円 **申** 当日 13 時～随時

【いきものタッチタイム】 8 月 22 日（土）・23 日（日）・29 日（土）・30 日（日）いずれも 13 時～ 16 時 無料 **対象**：どなたでも **申** 当日 13 時～随時

【つよしくんのこうさくしつ】 8 月 23 日（日）・29 日（土）・9 月 6 日（日）いずれも 13 時～ 16 時 **対象**：どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴） **定員**：各日先着 20 人 **参加費**：300 円（追加材料代別途） **申** 当日 13 時～随時

【折り紙ワークショップ「カブトムシを折る」】 8 月 30 日（日）13 時～ 16 時 **対象**：どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴） **定員**：20 人（多数の場合抽選） **参加費**：1 セット 200 円 **申** 8 月 20 日必着、参加者全員の必要事項を **往ハ F** で下記

【キッピー山の裏側たんけんたい】 9 月 5 日（土）① 13 時 30 分～ ② 15 時 30 分～ 無料 **対象**：どなたでも **定員**：各回先着 10 人 **申** 各回 15 分前～

【お気軽園内ガイド～ぶらっといきものたんけん～】 9 月 6 日（日）10 時 30 分～ 12 時 **対象**：どなたでも **定員**：先着 20 人 **参加費**：100 円 **申** 当日 10 時 15 分～

【おもしろ実験「冷却パックを作ろう」】 9 月 13 日（日）① 13 時～ ② 14 時 30 分～ **対象**：どなたでも（小学 3 年生以下は保護者同伴） **定員**：各回 10 人（多数の場合抽選） **参加費**：1 人 200 円 **申** 9 月 3 日必着、参加者全員の必要事項と希望時間を **往ハ F** で下記

申問 〒669-1313 福島 1091-2 有馬富士自然学習センター（569-7727 **F** 569-7737）

ふれあいと創造の里 味噌（みそ）づくり

日時：11 月～ 28 年 4 月の設定日（3 日または 4 日コース）※公開抽選により作業日程を決定。 **料金**：米 1 斗（15 kg）につき 1,300 ～ 1,400 円 ※米、大豆、塩は持参。 **抽選日時**：10 月 3 日（土）9 時 30 分～ ※代表者または代理人出席要 **申問** 9 月 16 日消印有効、代表者の必要事項とメンバー全員の名前、作りたい量（米 1 斗単位）を **往ハ** で、〒669-1342 四ツ辻 1129-1 ふれあいと創造の里（568-4000 **F** 560-7013）月曜休

旧九鬼（くき）家住宅資料館

【2 階特別公開】 8 月 23 日（日）10 時～ 16 時 無料 **内容**：ミニ講座「九鬼家をもっと知ろう」（10 時 30 分～） **申** 不要

【九鬼家四季彩「中秋の名月」】 秋の草花を生け、団子を食べる。 9 月 12 日（土）10 時～ 12 時 **対象**：5 歳～小学生（保護者同伴可） **定員**：先着 15 人 **参加費**：100 円 **申** 必要事項を **TEL ハ F** 窓口で下記

申問 〒669-1532 屋敷町 7-33 三田ふるさと学習館（563-5587 **F** 兼）10 時～ 17 時、月曜休

三輪明神（みょうじん）窯史跡園

【伊藤瑞宝じきでん講座】 ①かぼちゃのランプシェード作り 9 月 6 日（日）②少人数でじっくりシニアやきもの講座 9 月 11 日（金）③初級三田青磁小皿作り 9 月 18 日（金）いずれも 10 時～ 12 時

【その他講座】 ④幼児粘土遊び（粘土で子育て）9 月 8 日（火）10 時～ 11 時

対象：①どなたでも（小学 2 年生以下は保護者同伴）② 55 歳以上 ③どなたでも ④幼児と保護者 **定員**：① 25 人 ②③ 15 人 ④先着 10 組 **参加費**：①～③ 700 円（釉薬（ゆうやく）・焼成料含む）④無料（焼成無し）

申問 必要事項を **TEL F** 来園で ①～③ 8 月 15 日から開催日の 1 週間前までに（多数の場合抽選）、④当日受付 同史跡園（563-8211 **F** 兼）9 時～ 17 時 月曜休（祝休日は開園、翌日休園）※団体受付、出張体験学習有り。

甲種防火管理者新規講習会

9 月 9 日（水）9 時～ 17 時 10 分、9 月 10 日（木）9 時～ 12 時 30 分 消防本部 **定員**：先着 40 人 **申問** 8 月 24 日～ 28 日（9 時～ 17 時）までに、申込用紙（市ホームページからダウンロード）に写真 1 枚（無帽・正面上半身、縦 4 cm×横 3 cm）、受講料 4,000 円を添えて消防本部予防課（564-0119 **F** 563-1230）

ガラス工芸館

【写真特別講座】 ステンドグラスなどの撮影。 9 月 10 日（木）10 時～ 16 時 **講師**：秋山廣行（あきやまひろゆき）さん（プロカメラマン） **対象**：どなたでも **定員**：先着 15 人 **持ち物**：デジタルカメラと取扱説明書 **受講料**：6,800 円（プリント代、昼食費含む）

申問 9 月 6 日までに、必要事項を **TEL ハ F** で、〒669-1507 香下 1832 ガラス工芸館（564-5111 **F** 564-5118）火曜休

カモン・キッズ「楽しいピザ作り」

9 月 13 日（日）10 時～ 12 時 中央公民館 **対象**：小学 3 ～ 6 年生 **定員**：24 人 **材料費**：300 円 **持ち物**：マスク、エプロン、タオル、三角巾、水筒（飲み物） **申問** 9 月 6 日必着、必要事項を **ハ F** で〒669-1533 三田町 22-19 中央公民館（563-2991 **F** 563-2992）※多数の場合抽選、応募者全員に抽選結果を連絡

まちづくり協働センター

【思春期の子育ては気力勝負？ ちょっと一息つきたい親のためのしゃべり場】 9 月 25 日（金）10 時 30 分～ 12 時 無料 **ファシリテーター**：橋上浩子（はしかみひろこ）さん（CAP スペシャリスト） **対象**：思春期の子の父母・祖父母 **定員**：10 人（多数の場合抽選） **一時保育**：同室でスタッフが見守り **申** 9 月 18 日までに必要事項を **TEL F e** 来所で下記

【幼児期の子育ては体力勝負？ 喜びも悩みも持ち寄ってリフレッシュ！】 9 月 26 日（土）10 時 30 分～ 12 時 無料 **講師**：山本梨香（やまもとりか）さん（子育て支援グループキララ代表） **対象**：赤ちゃんから未就学児までの子の父母・祖父母 **定員**：10 人（多数の場合抽選） **一時保育**：5 人（1 歳～就学前児、要申込） **申** 9 月 16 日までに、必要事項を **TEL F e** 来所で下記

申問 〒669-1528 駅前町 2-1 まちづくり協働センター人権・男女共同参画プラザ（559-5163 **F** 563-8001 **e** kippy-danjop@bz04.plala.or.jp）10 時～ 17 時

生　活

ジェネリック医薬品で医療費を安くできます

ジェネリック医薬品はこれまで使われてきた薬の特許が切れた後に同等の品質で製造販売される低価格の薬です。毎月の薬代の負担を軽くしたい人は、医師・薬剤師にジェネリック医薬品について相談してみましょう。※症状などにより医師が使用を認めない場合や薬局で取り扱っていない場合があります。**問** 国保医療課（559-5049 **F** 559-2636）

わいせつ事件が多発しています

歩きながらイヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作していると、注意力が散漫になり危険です。また、遅い時間帯や暗い道、人気のない道は危険が高まります。自分の身を守るために、①防犯ブザーを持ち歩く ②周りを警戒する ③大声を出すなどの対策を行いましょう。※ひょうご防犯ネット（hpp@hbnp.net への空メール送信で登録）もご活用ください。**問** 三田警察署生活安全課（563-0110）

スポーツ

市民スポーツ教室「グラウンドゴルフ」（全 6 回）

9 月 11 日・18 日・25 日、10 月 2 日・16 日・23 日 いずれも金曜 13 時～ 15 時 城山公園陸上競技場 **対象**：市内在住・在勤・在学者 **定員**：先着 30 人 **受講料**：協会員 1,000 円、一般 2,000 円（ルールブック代、傷害保険料含む） **持ち物**：クラブ、ボール、マーカー（貸出可） **申問** 8 月 31 日必着、必要事項を **TEL ハ F e** で、〒669-1323 あかしあ台 5-20-5 市グラウンドゴルフ協会・前田（まえだ）（564-2654 **F** 兼 **e** yuichi151410@maia.eonet.ne.jp）

その他

戦没者などの遺族に対する特別弔慰金の請求受付

戦没者などの遺族を対象とした特別弔慰金の請求を受け付けています。27 年 4 月 1 日現在で、公務扶助料や遺族年金などの給付を受ける人がいない場合に、戦没者などの死亡当時の三親等内親族のうち、先順位の遺族 1 人に支給されます。 **支給内容**：額面 25 万円、5 年償還の記名国債 **請求期間**：30 年 4 月 2 日まで **申問** 福祉総務課（559-5069 **F** 562-1294）

旧軍人等恩給説明・相談会

旧軍人などを対象に各種恩給制度の説明会・個別相談会を開催します。 8 月 28 日（金）14 時～ 県民会館 902 会議室（神戸市中央区下山手通 4-16-3） **対象**：①旧軍人で、軍人在職期間が 3 年以上の人またはその遺族 ②軍人期間中、公務や勤務関連などで傷病を受け、現在も後遺症がある人 ③実在職年が不明だが軍人期間のある人またはその遺族 **申** 当日受付 **申問** 県生活支援課恩給援護班（078-362-3204）

関西学院大学 図書館の一般公開利用

神戸三田、西宮上ケ原キャンパスの大学図書館を一般公開。 **受付期間**：9 月 1 日～ 15 日 平日 9 時～ 16 時、土曜 9 時～ 12 時 **利用資格**：他大学の教職員・学生や大学受験生を除く 20 歳以上の人で調査・研究の目的が明確であること **利用期間**：27 年 10 月～ 28 年 3 月 ※利用制限期間有り **登録料**：3,500 円 **必要書類**：本人確認書類（運転免許証など）、証明写真（縦 4 cm×横 3 cm または縦 4.5 cm×横 3.5 cm）1 枚、切手 82 円分 **申問** 神戸三田キャンパス図書メディア館（565-7593）

建築士事務所協会三田支部 建築無料相談会

耐震改修工事や、建築工事全般の相談。毎月第 2 金曜 18 時～ まちづくり協働センター **問**（一社）兵庫県建築士事務所協会三田支部 株式会社衣笠設計内（563-1925 **F** 563-1392）・審査指導課（559-5119 **F** 559-7400）

子育て

多世代交流館

【おしゃべりサロン】 パパ・ママたちへ…気軽に集まって楽しくおしゃべり。 8 月 18 日（火）10 時 30 分～ 11 時 30 分 **対象**：就学前児の保護者 **申** 不要

【人形劇＆お誕生会】 8 月 27 日（木）11 時～ 12 時 **対象**：乳幼児～小学校低学年と保護者 **内容**：人形劇団「なんじゃもんじゃ」による「すいか」など **申** 不要

【アンパンマンリュックを作ろう】 9 月 18 日（金）10 時～ 12 時 **対象**：就学前児の保護者 **定員**：15 人（多数の場合抽選） **材料費**：1,300 円 **一時保育**：15 人（1 歳～就園前児、要申込） **申** 8 月 20 日までに、必要事項を **ハ F e** 来館で下記 ※初めての人優先

申問 〒669-1546 弥生が丘 1-1-2 多世代交流館（562-8421 **F** 562-8422 **e** tsedai_u@city.sanda.lg.jp）

駅前子育て交流ひろば

【美ママ講座 自分を好きになるワークショップ①】 子育てのエッセンスを見つける。 9 月 10 日（木）13 時 30 分～ 15 時 まちづくり協働センター 無料 **講師**：小山進（こやますすむ）さん（パティシエ エス コヤマ代表取締役） **対象**：子育て中の保護者 **定員**：15 人 **一時保育**：10 人（4 カ月～就園前児、要申込） **申問** 8 月 26 日までに、必要事項を **ハ F e** で、〒669-1528 駅前町 2-1 駅前子育て交流ひろば（556-5230 **F** 556-5231 **e** ekimaekosodate@solid.ocn.ne.jp ）※多数の場合抽選、当選者のみ連絡

ありまふじ夢プログラム

【親子遊び～カプラで遊ぼう！～】 室内遊び。米粉ベーグルとドリンク付き。 8 月 27 日（木）11 時～ 15 時 **対象**：未就学児と保護者 **定員**：20 組 **参加費**：1,000 円 **申** 8 月 21 日必着、必要事項とメールアドレスを **TEL e** で下記のキララ事務局

【Sunday ☆ School ～学校で出来ない体験を有馬富士公園で思い切り楽しもう！】 夏休み宿題相談会。 8 月 30 日（日）① 10 時～ 12 時 ② 13 時～ 15 時 有馬富士パークセンター **対象**：小・中学生 **定員**：15 人 **参加費**：1,500 円（半日） **申** 8 月 25 日必着、必要事項とメールアドレスを **TEL e** で下記

申問 キララ事務局（559-5558 **e** kirara_2001@hotmail.co.jp）※多数の場合抽選

交通メモ

【夏休み期間中の交通事故防止】 暑さなどで気の緩みが生じやすい時期です。 ①歩行者は信号の厳守と横断歩道利用の徹底 ②自転車利用者は信号を守り、一時停止場所での停止と左側通行の徹底 ③自動車運転者はシートベルトの正しい着用と安全確認の徹底を心がけましょう。 また、飲酒運転による悲惨な事故を発生させないよう ①お酒を飲んだら車は運転しない ②お酒を飲んだ人には運転をさせない、頼まない ③自動車でお酒を飲みに行くときは、ハンドルキーパーを確保するなどを徹底しましょう。 **問** 三田警察署（563-0110）

交通事故発生状況

区分		7 月累計	対前年比
件数	人身	229	△ 35
	物件	1,391	12
	計	1,620	△ 23
傷者数	重傷	8	△ 21
	軽傷	271	△ 34
	計	279	△ 55
死者数		0	0

特集 小規模特認校・母子小学校の取り組み

キラリ教育

子どもたちは地域の宝

小規模校の特色を生かし 学校・地域・家庭が連携して取り組む教育

母子小学校は市内北部山あいの豊かな自然に囲まれた環境の中にあります。全学年が複式学級で学習しており、少人数を生かしたきめ細やかな指導を進めています。また、20年以上にわたる算数科の研究や一輪車を通した体力づくり、鳥羽市の神島小学校をはじめ他市の小規模校との交流学習など、特色ある取り組みを進めています。

母子小学校の全校児童数は現在12人です。24年度から小規模特認校制度を導入し、25年4月に初めて地元以外の校区から入学生を受け入れました。さらに今年度、同制度を利用して2人目となる入学生を迎え入れました。

地域資源・人材を生かした教育

同校区内には母子茶の茶畑や永澤寺、花しょうぶ園、そば道場などの地域資源が豊富にあり、これらの資源を生かし、地域の活性化に取り組んでいます。学校においても、地域の自然や文化、産業に着目した「ふるさと教育」に取り組み、神楽の指導をはじめ地域のさまざまな人々の協力を得ながら、子どもたちの「生きる力」を育む教育を推進しています。

また、オープンスクールや学校行事などについて、市広報紙や学校ホームページ、新聞、テレビを通じて、情報発信を積極的に行っています。

小規模特認校支援事業を創設

市は今年度新たに、小規模特認校支援事業を創設しました。

この事業は、地域住民が企画立案した母子小学校の教育活動や児童の放課後などの生活を支援する活動、同地区への転入を促進する地域活動などに対し補助します。

母子小学校の保護者や地域住民の皆さんが「母子特認校サポートクラブ」を設立し、支援活動を行っています。

住民が放課後に児童をサポート

サポートクラブの活動の一つに、「母子特認校サポート教室」があります。この活動は母子小学校の児童を対象とし、その保護者の就労などで放課後に預りを希望する場合、地域住民が生活や遊びの場を提供し、生活支援を行うものです。現在は児童1人がこのサポート教室を利用しています。月曜から木曜の放課後に、地域住民が図書室で宿題や遊びなどを支援しています。このほか、一輪車教室や地域の合同運動会などの活動を行う予定です。

学校と地域が心をひとつに

このような地域の支援活動によって、児童はより安全、安心な環境で学ぶことができるようになりました。今後も、この活動が継続され、『きらきら かがやく 母子っ子』の実現にむけて、学校教育の充実とともに、地域の活性化が図られていくものと考えています。

問い合わせ＝学校教育課（559-5136 FAX 559-6400）

母子小学校（566-0200 FAX 566-0045）

母子小学校のめざす児童像

「きらきら かがやく 母子っ子」

夢いっぱい
・・よく考え、行動する子
笑顔いっぱい
・・やさしい子
元気いっぱい
・・からだを鍛える子

【小規模特認校制度の概要】

一定の条件のもとに、市内全域から母子小学校に入学・転学ができます。

◆就学条件
(1) 三田市に在住していること
(2) 小規模特認校の教育活動に賛同し、協力すること
(3) 保護者の責任と負担において児童が安全に通学できること
(4) 児童が原則として卒業までの間、就学すること

◆ 27 年度募集定員 ※引き続き募集しています。
1･2 年生…3 人程度、3･4 年生…4 人程度、5･6 年生…6 人程度

◆詳細は募集要項をご確認ください。要項は学校教育課、母子小学校、市内各小学校、各市民センターなどに設置するほか、市ホームページにも掲載しています。

◀保存の際にパンチをご利用になる場合は、こちらに中心を合わせてください

今月の給食

給食センター探検隊
スペシャル献立

牛乳寒天

牛乳で簡単に作れるので、夏休みに親子で作ってみてください！

材料　4 人分

牛乳	240g
粉寒天	2.4g
砂糖（上白糖）	大さじ 3
水	120g
フルーツ缶	100g

問い合わせ＝学校給食課 (567-2279 FAX 567-2329)

作り方

1. なべに水、粉寒天を入れ火にかけ、粉寒天をしっかり煮とかす。砂糖を入れ、とけたら火をとめる。
2. 1のなべにひと肌にあたためた牛乳を入れ、静かに混ぜる。
3. タッパーなどに入れて冷やし、固まれば好みの大きさに切る。
4. 切った後、好きなフルーツ缶の中身をあわせて器に入れてできあがり！

8 月休日診療当番医

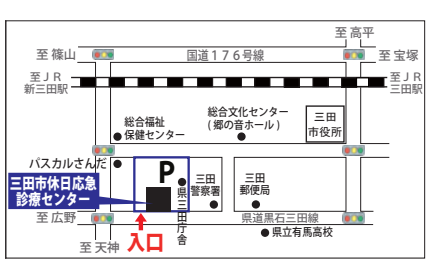
休日応急診療センター

所在地：天神 1 丁目 10-14 (556-5005)
内科、小児科を中心とした外来応急診療
診療時間
9 時～ 12 時（受付： 8 時 45 分～ 11 時 30 分）
13 時～ 17 時（受付：13 時　～ 16 時 30 分）

16 日（日）	阿部 和夫（内科） 田場 隆介（小児科）
23 日（日）	今田 世紀（内科） 中井 真通（内科）
30 日（日）	坂東 義清（外科） 江原 伯陽（小児科）

※都合により当番医が変更になる場合があります。
※小児科医以外の診療日について、3歳児未満は診療できない場合があります。
※投薬は休日が続く場合を除き1日分ですので、翌日には「かかりつけ医」などに受診をお願いします。
※上記三田市休日応急診療センターの診療時間外（日曜・祝日の 17 時以降など）は神戸こども初期急病センターでも診察が受けられます。**受付時間：月～金曜**/19:30 ～翌朝 6:30　**土曜**/14:30 ～翌朝 6:30　**日曜・祝日（年末年始）**/8:30 ～翌朝 6:30　※診療は各受付開始時間の 30 分後から　**TEL 078-891-3999**

◆三田市休日応急診療センター地図



休日診療当番医（歯科）

診療時間 9 時～ 15 時 ※歯科は各医院で診療

16 日（日）	おくしゃ歯科医院（すずかけ台 1）	565-0886
23 日（日）	宮地歯科医院（天神 3）	564-1616
30 日（日）	尾崎歯科医院（友が丘 2）	562-6480

さんだ健康医療相談ダイヤル 24　(24 時間年中無休・通話料無料)
0120-310-328 ※住所、名前、年齢を告げてご利用ください。

消費生活情報

「不用品を買い取る」という電話に気をつけよう。訪問購入はクーリング・オフできます。

【事例】

「不用品を買い取る」と電話があり、布団があると伝え訪問日を決めた。業者は訪問すると、玄関に用意していた布団は見もせず、家の中を覗き込みながら「貴金属はないか」と聞いてきた。ないと断ったが「せっかく来たのだから何かないか」と言われ、なかなか帰ってくれなかった。仕方なく金のネックレスを見せると 1 万円で買うと言われ同意した。よく考えたら最初の約束と違う。クーリング・オフできるか。

事例のように「不用品はないか」あるいは「古い着物や洋服、家電を買い取る」と電話があり、訪問した業者が、「貴金属はないか」と執拗に聞いてきたという相談が増加しています。

消費者宅に訪問した業者が貴金属などを買い取る「訪問購入」は改正特定商取引法（2013 年施行）に基づき、クーリング・オフができます。法律で定められた書面を受け取った日を含めて 8 日以内であれば、無条件に取り戻すことができるようになりました。またクーリング・オフ期間内は、消費者（売主）は買い取り業者に対して売却商品の引き渡しを拒むことができます。契約をしたとしても、すぐに商品を渡す必要はありません。ただし、クーリング・オフできない商品（下記）や例外もあるので注意が必要です。

何よりまず、売却したくない場合はきっぱり断りましょう。判断や対応に困ったときは消費生活センターにご相談ください。

売却を断ると暴言を吐かれたり、さらにその場に居座り執拗に勧誘されるケースも見られます。消費者が断っているのに勧誘を続けたり、消費者を困らせるような行為は禁止されています。脅されたり怖い思いをすることがあれば警察に連絡しましょう。

【クーリング・オフできない商品や取引形態】

・自動車（2 輪車は除く）、家具、家電（携帯が容易なものは除く）、本・CD・DVD・ゲームソフト類、有価証券
・消費者自らが自宅での契約締結などを請求した場合、いわゆる御用聞き取り引きの場合、いわゆる常連取引の場合、転居に伴う売却の場合
※再勧誘の禁止など、一部規制は除外されません。

三田市消費生活センター（559-5059）◇ご相談は電話または窓口へ
月曜～金曜、第 2・4 土曜（祝日除く）10 時～ 18 時 ※ 相談業務は 10 時～ 17 時
「ハニーFM（82.2 MHz）」消費生活情報提供中 毎月第 3 月曜 15 時 10 分～ 15 時 30 分

休所日のご相談や三田市消費生活センターの番号をお忘れの場合は…
《消費者ホットライン》 188 番（いやや！）
身近な消費生活相談窓口、または国民生活センターにつながります。
※受付時間外の場合は、相談窓口の案内が流れます。